

地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 第三期中期計画について

経緯

第三期中期目標（目標期間：平成28～32年度の5年間）を、平成27年第4回都議会定例会での議決を経て、産技研に対して指示（平成27年12月16日指示済）

第三期中期目標を達成するための計画である「第三期中期計画（案）」を産技研が策定し、東京都に対して認可申請
…認可に際して評価委員会から意見を聴くことが必要（議会の議決は不要）

* 平成28年2月1日開催の東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会において、「第三期中期計画（案）」について意見聴取の予定

第三期中期目標の基本的考え方

都内中小企業を取り巻く状況と産技研の取組の方向性

背景

- 都内産業動向の変化（環境・エネルギー、生活技術、安全・安心等成長産業分野の拡大）
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた準備
- グローバル化を背景にした環境の変化

課題

- 社会経済情勢の変化に機動的に対応し、より高い業務実績を達成するため、研究開発・技術支援を両輪に据え推進する必要
 - ・ 研究開発：研究成果を中小企業の製品化・事業化に還元するための仕組みづくり
 - ・ 技術支援：中小企業の製品開発ニーズに対応した支援体制の構築

産技研の取組の方向性

都内中小企業の目線に立った
総合的かつシームレスなサービスの提供

【視点1】

少子高齢化など大都市の課題解決に寄与し、今後成長が見込まれる産業分野への中小企業の参入促進

【視点2】

東京2020大会とその後を見据えたものづくり産業の高付加価値化

【視点3】

成長するアジア新興国の動向など国内外の市場ニーズを的確に把握し、中小企業の海外展開を効果的に支援

第三期中期計画のポイント

1 研究開発活動による東京の成長産業支援

- ・ 今後発展が予想される技術分野を充実させ、都民生活の向上に資する研究を実施
《重点技術分野》

- ① 環境・エネルギー分野（環境浄化技術、再生可能エネルギー）
- ② 生活技術・ヘルスケア分野（感性工学に基づく生活関連製品の付加価値向上、健康・医療・福祉機器産業）
- ③ 機能性材料分野（航空機産業、素材産業への中小企業参入支援）
- ④ 安全・安心分野（製品の安全性向上、信頼性の高いロボット開発）

2 プロダクトイノベーションの推進による開発型中小企業の支援

- ・ 「3Dものづくりセクター」【新設】…3Dデジタル技術を活用した高度なものづくり
- ・ 「材料技術開発セクター」【新設】…機能性材料、環境対応製品など先端材料製品を開発
- ・ 「複合素材開発セクター」【新設】…産業用繊維や炭素繊維などの複合素材の開発を支援
- ・ 「実証試験セクター」…安全で信頼性の高い製品開発のために必要な試験（温湿度、劣化等）を迅速・効率的に支援

3 中小企業の海外展開を支える技術支援

- ・ 国際規格対応へ支援…国際規格に対応した試験、国際規格の相談や規格動向セミナーの開催による情報提供
- ・ 海外現地で事業展開している中小企業に対する技術支援、海外現地情報を中小企業へ還元

4 多様な機関との交流連携の推進

- ・ 産学公連携の推進 ・ 公設試との連携による広域的な技術支援
- ・ 経営支援機関と連携した技術・経営両面からの総合的支援

5 高度な産業人材の育成

- ・ 新製品・新サービスの創出を担う人材を育成 ・ 研究開発や製造技術の高度化を担う人材を育成

・ 将来にわたる事業活動を見据えた計画的な法人運営

- ・ 事業別セグメント管理を導入し事業効果を検証するなど、高品質なサービスを安定的・継続的に提供
- ・ 中長期的視点に立った、研究員・事務職員の計画的な確保・育成

・ 法人運営を取り巻く社会情勢等の変化を踏まえた対応

- ・ 危機管理対策の推進、経営情報の公開、環境負荷の低減や環境改善に配慮した業務運営